

令和8年度麻布大学同窓会富山県支部総会報告

令和8年度定期総会を令和8年7月12日に富山県民会館にて開催いたしました。今年度は麻布大学より村上賢学長をお迎えし、対面での活気ある総会となりました。

総会では、昨年度の事業・会計報告、今年度の事業予定案などについて審議が行われ、満場一致で原案とおり承認されました。また、昨年10月に静岡県にて開催された中部ブロック会議の概要について事務局より報告されました。

総会後には、村上学長から「麻布大学の現状とこれから」と題してご講演を頂きました。

スクリーンに映りだされた新旧の建物の映像見

て、その変貌ぶりに驚かされました。令和6年に開講された愛玩動物看護師を養成する獣医保健看護学科はとても人気があるようですが、18歳人口の減少などの課題もあり、今後どのように大学経営を進めていけば良いのか、その舵取りの難しさ

を感じさせられました。また、大学ニュースとして、「ウルトラマンテオ」(円谷プロ)の獣医学監修したプロセスなどをお話頂き、主人公が通う“明心大学”に自分も入学した気分になりました。大学の取り組み、課題、ニュースと盛りたくさんの情報に、参加した会員にとって大変有意義な講演会になりました。村上学長、ありがとうございました。



講演後には、村上学長を囲んで懇親会を開催しました。参加者同士の近況報告など、終始和やかな雰囲気です。宴が進み、母校のさらなる発展を願いつつ、次回の再会を期して閉会となりました。

“春相模野の花吹雪 夏青春の宴あり 秋冷ことにひもときて 冬星霜の移るとも

我がのる舟よ とこしえに”

(平成16年卒 柿澤 敦子)

